

図 18 湾奥部の水位、底層DO等の経時変化 (2007年、海底上0.2m)

出典：石谷哲寛、瀬口昌洋、郡山益実 (2008) 有明海奥部西岸域における底層DOと鉛直拡散係数及び酸素消費率の関係、農業農村工学会全国大会講演要旨集(pp762~763)

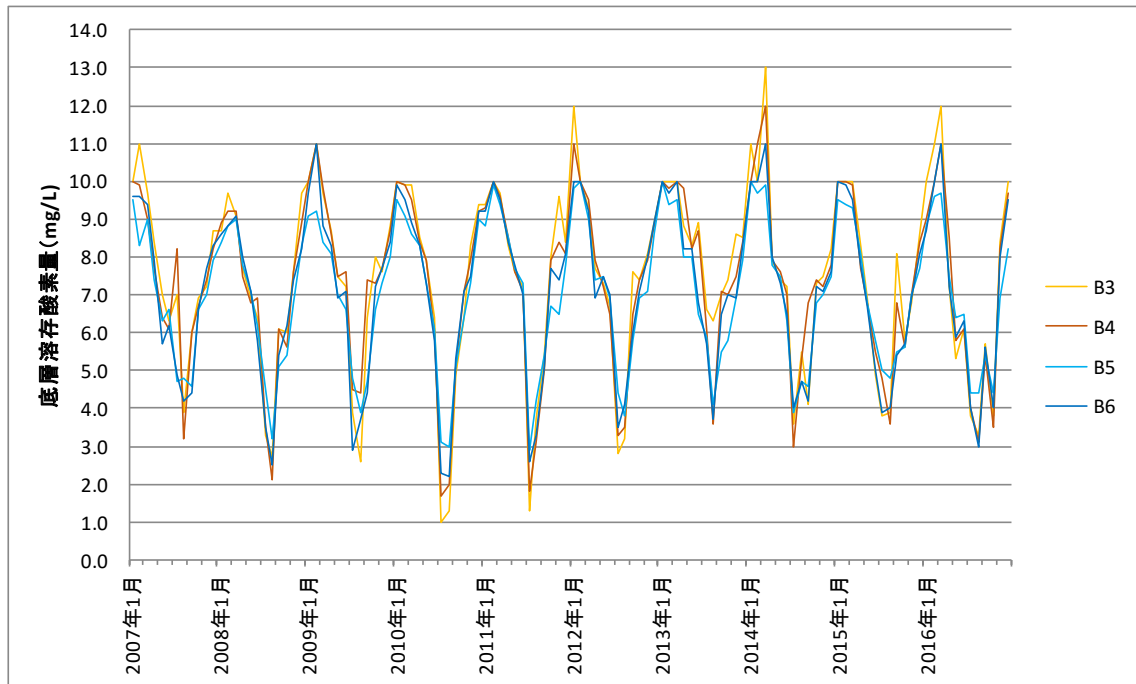
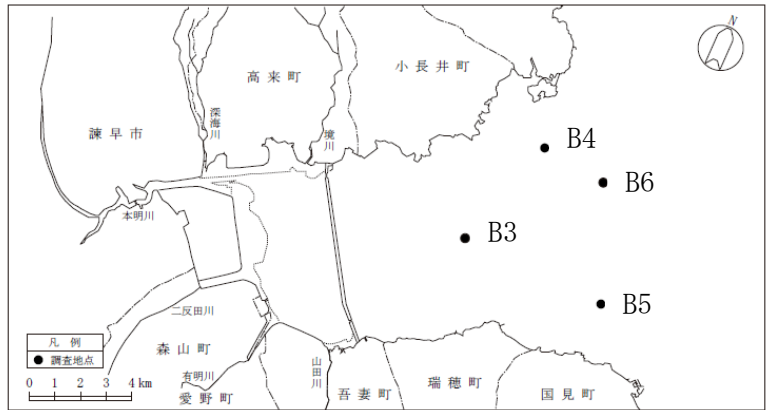


図 19(1) 底層DOの経年変化 (2007年~2016年、月1回調査、海底上1m)

出典：九州農政局 HP 諫早湾干拓事業環境モニタリングデータ等の公表について

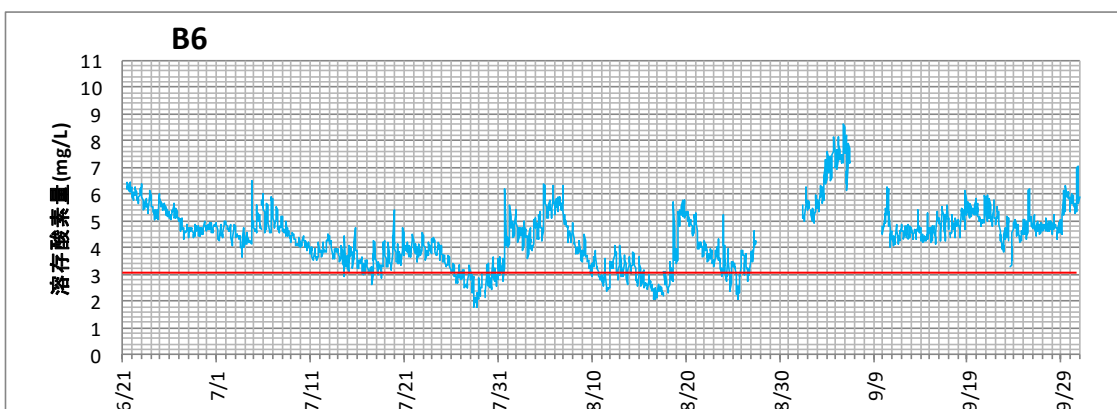
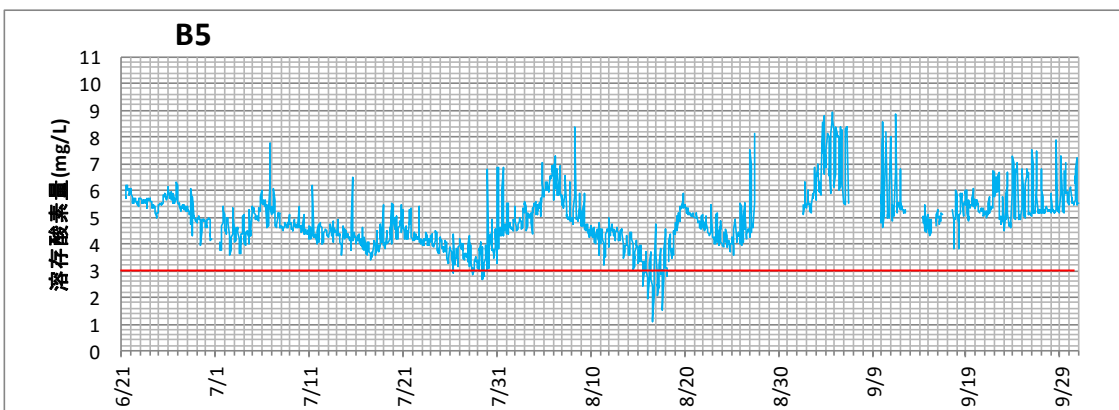
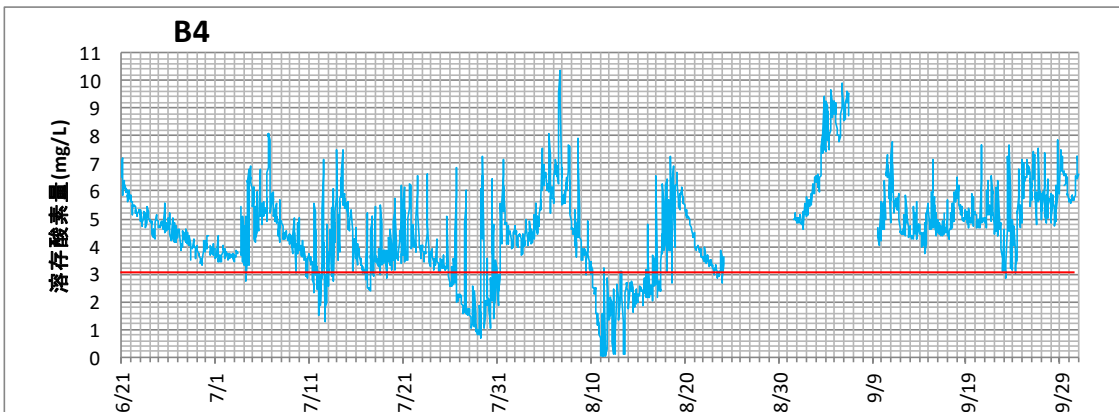
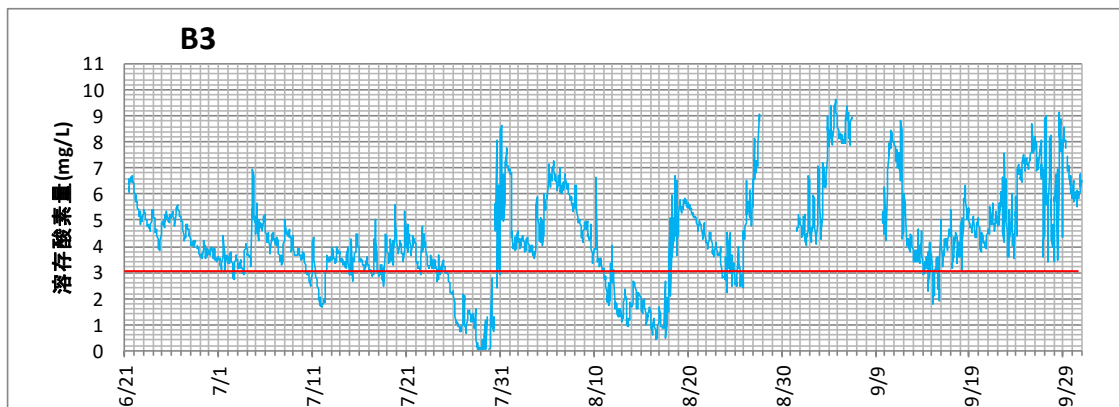


図 19(2) 底層DOの連続測定結果(その1)(2004年、海底上1m)

出典：九州農政局 HP 諫早湾干拓事業環境モニタリングデータ等の公表について

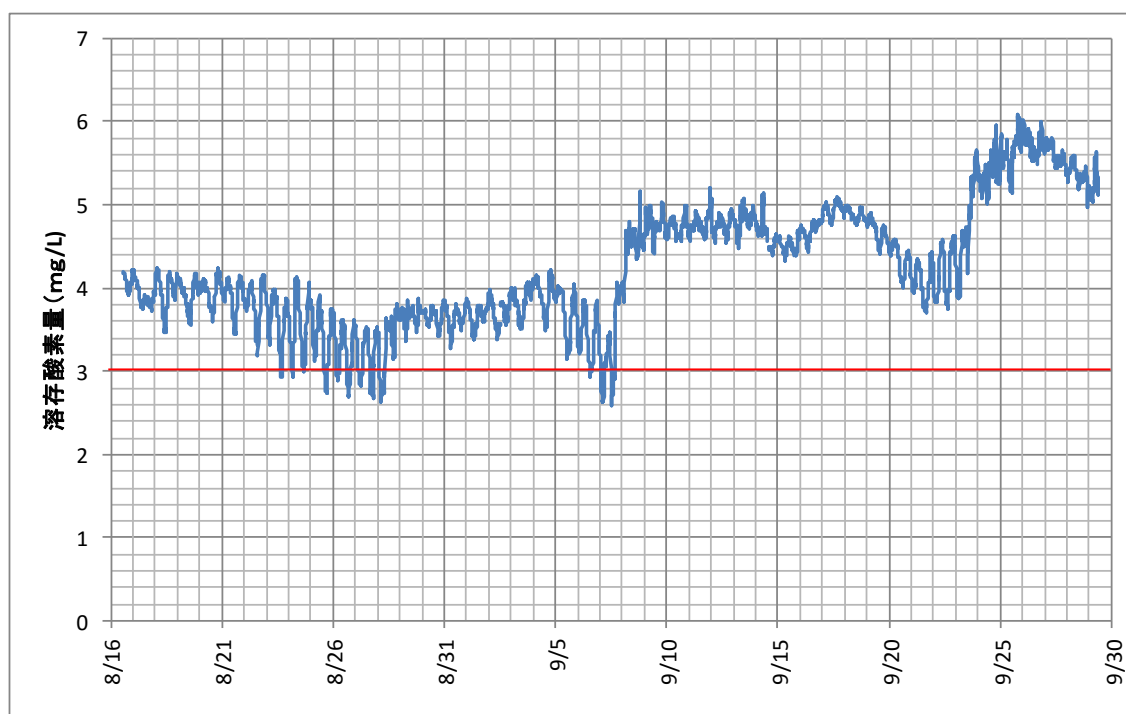
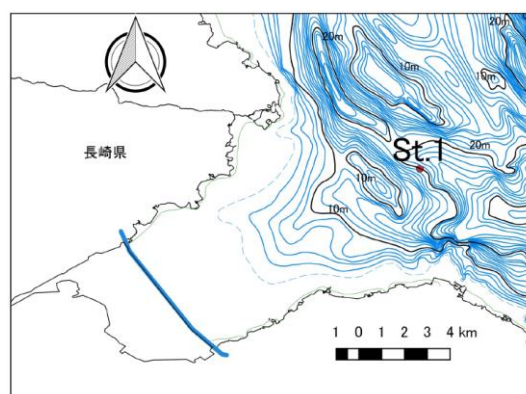
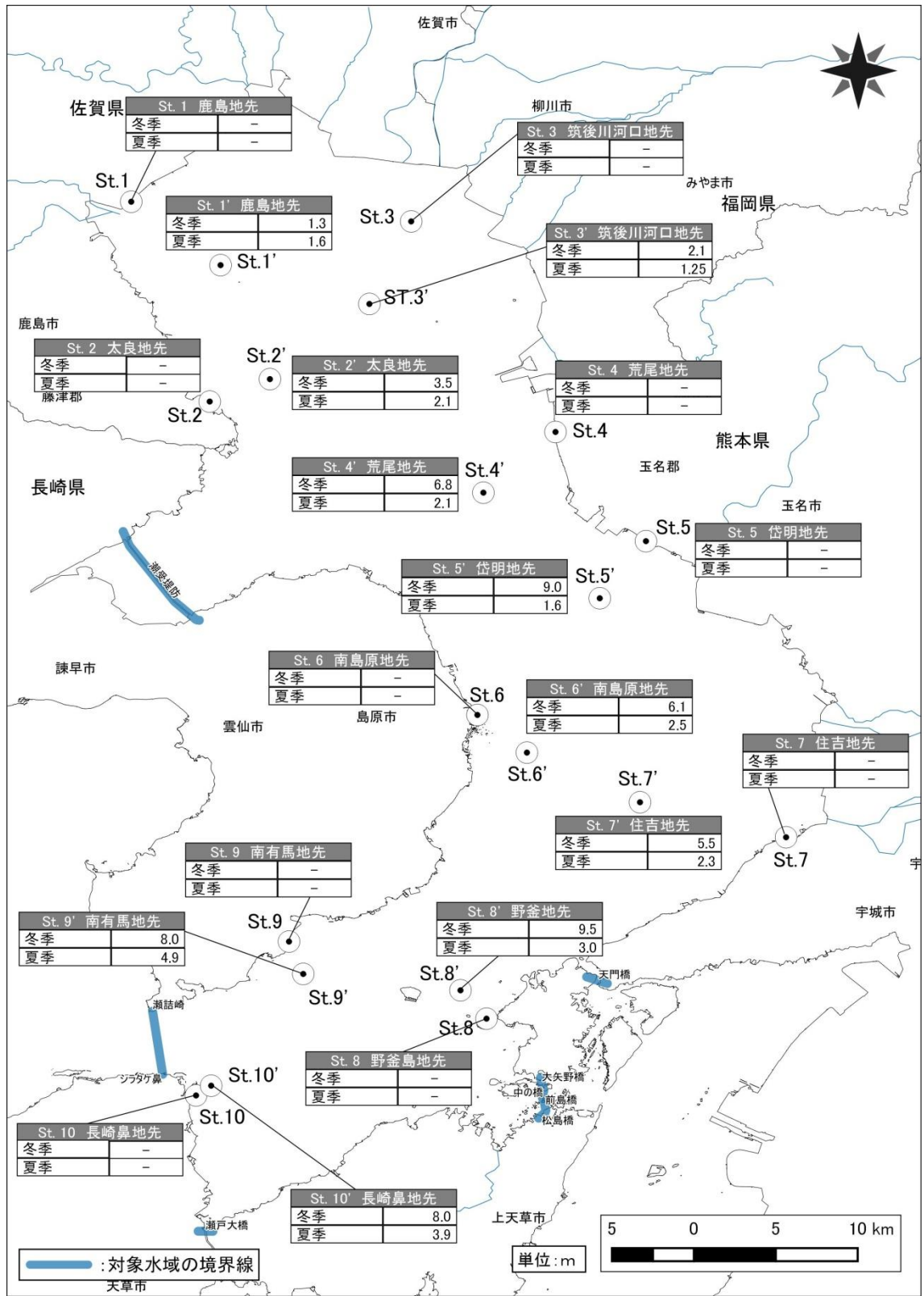


図 20 底層DOの連続測定結果（その2）（2010年、海底上0.2m）

出典：長崎大学水産学部、いであ株式会社(2011)平成22年度有明海生態系回復方策検討調査（生態系機能解明調査）業務報告書



※1)調査実施日：平成28年3月1～7日

図21 透明度の分布（水質調査結果）